



### 7【駒ヶ林蛭子神社】

昔に浜に流れついた木造の御神体を祀っており祭神は蛭子命、大己貴命、八重事代主命で、古くから漁師の崇敬する社として親しまれています。昔はここにある鳥居の所まで砂浜でした。また、ここには魚のとき網に掛かり死んでいった海亀の供養碑があります。



▲大海亀のお墓



### 8【駒ヶ林保育所】

駒ヶ林では「浜幼稚園」と呼ばれています。昔はごね堂で、大正時代に公会堂となり、それが愛国婦人会の運動により、保育所となりました。



▲浜幼稚園の子供たち



▲日露戦争の大砲の弾

### 9【福富大明神】

六丁目でお祀りしている商売の神様で、境内には日露戦争の大砲の弾も、記念として奉納されています。



由緒ある魚市場

▲大正時代の魚市場の様子

駒ヶ林は古くからの漁港で、大昔から魚市があったと伝えられています。採れる魚は季節ごとに異なり、それを目指して多くの漁師、加工屋、商人が集まりました。「ハヤシ千軒」と言われ、昔は大きな賑わいがあり、みんなが時代に合った漁や商売を考えて栄えてきたのです。



▲現在の競りの様子



### 6【駒林神社】

足利尊氏や平清盛が立ち寄ったとされる、歴史ある神社です。また境内にある稲荷神社は無声映画時代の大スターが寄進しており、名前を記した石柱が見られます。



▲稲荷神社



### 5【海泉寺】

1289年に設立されとあり本尊「阿弥陀三尊像」は優れた彫刻として名高いです。「全人類の幸福を祈る鐘」などノーベル賞受賞学者の湯川秀樹さんにまつわるものも多いそうです。



▲阿弥陀三尊像

## 駒っぶ第三弾 『義経』記念号

～駒ヶ林の歴史遺産～



Scale 1:3,000

0 20 40 60 100m



長田港

### 正統派いかなご釘煮



- 秘伝その一
- とれとれのいかなご 2.0kg
  - 濃い口醤油 2.0合
  - ざらめ砂糖 600g
  - 土生姜 100g
  - みりん 100cc
  - アルミホイル ざる ポウル 鍋 (深く、大きく厚みのあるもの)



秘伝その三

アルミホイルでフタをします。しばらくすると、煮立ってきてフタがあがってくるので、この状態で煮込み続けます。たまに蓋をめくって灰汁を取ります。新鮮ないかなごだと灰汁も少ないです。



秘伝その二

いかなご2.0kgを流水で洗い、ザルに入れ水を切り、鍋に醤油2.0合と砂糖600gを入れ強火にかけます。少し煮立ってきたら土生姜といかなごを3〜4回に分けて交互に入れ煮ます。



秘伝その四

煮汁が減っていかなごが見えたら、みりんを加え、鍋を2〜3回揺すり煮汁を絡めます。これを煮汁が無くなるまで数回繰返し、煮汁が無くなったら、火を止め、ポウルで受けて煮汁を切り、冷ますと、駒ヶ林に伝わる正統派のいかなご釘煮の完成です。



### 4【二葉地蔵尊】

駒ヶ林を代表する名松「二葉の松」のそばにあったことから「二葉地蔵」と呼ぶようになったそうです。その松は光源氏が須磨をさすらった時に植えられたといわれ、源氏松という異名も持っていました。



### 3【海泉寺墓地】

駒ヶ林のほとんどの人のお墓があり、古いものは200年近く前のものもあります。写真は水子供養や亡くなった人の為に立てられたと言われている、もっとも立派なお地蔵さんの一つです。



### 2【駒一地蔵尊】

ここには徳本上人が書かれた蔦文字の石碑をはじめ、800年以上前の平家のお墓の名残りといわれる五輪塔や六地蔵など大小のお地蔵様が祀られています。【別名：六地蔵さん】



▲震災前の駒一地蔵尊



### 1【駒竹稲荷神社】

以前は駒一地蔵尊の横にありましたが都市計画より現在の場所に移設されました。空襲の時には石で出来たキツネの像が、ケーンケーンと鳴いて危険を知らせたと言われてます。